

参加者へのお知らせとお願い

■研究会参加者の皆様へ

1. 受付は日本消防会館ニッショー・ホールにて下記の時間より開始します。
3月10日（土）11：00～
3月11日（日）8：30～
2. 参加登録費（抄録集、発表論文集代を含む） 10,000円
※会場ではネームカードに所属・氏名を記入の上、必ず着用して下さい。
3. 発表論文集
発表論文集を後日郵送しますので、参加登録の際には所定の用紙に住所・氏名を正確にご記入下さい（不正確ですと発表論文が届かないことがございます）。
4. 会場での発言はマイクを使用し、所属・氏名を最初に述べて下さい。
5. 会場での呼び出しは緊急の場合のみに限り、受付で申し受けます。外部からの電話呼び出しは先方の番号のみ伺っておきますので、改めてご自分でお掛け直し下さい。
会場内のアナウンスはお断りします。
6. 会場内は禁煙です。
7. その他のお問い合わせは受付へご連絡下さい。
8. 日本透析医学会専門医の単位取得について
本研究会に参加されますと、日本透析医学会の専門医制度により定められた3単位を取得できます。単位取得のための参加証は参加受付にてネームカードを確認の上お渡します。

■座長の先生方へ

1. 担当セッションの開始15分前までに、次座長席にご着席下さい。
2. 演者の口演時間および討論時間は厳守でお願い致します。

■演者の方へ

1. 発表時間
一般演題：口演7分 討論3分（前回優秀演題：口演12分 討論3分）
シンポジウム：発表＋質疑18分 総合討論16分

2. 発表について

- ・パワーポイントによる PC (パソコン) での発表のみです (スライドでの発表は受けませんのでご注意ください).
- ・利益相反 (COI) についての情報開示をお願い致します. 発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください.
- ・PC 受付に発表予定時刻の 30 分前までにお越し頂き, 出力をチェックしてください. モニターの使用方法等についてご不明の点はオペレーターにお尋ね下さい.
- ・プロジェクターは 1 台のみです. ご発表時にはご自身で送り・戻しの操作をお願い致します.

1) データの持込の場合

- ・PC は以下の環境で用意致します.
OS = Windows7
Power Point = ver.2003 以降
- ・Macintosh は用意しておりません. Macintosh で発表される方は, ご自身の PC をお持込下さい.
- ・Windows format に限り CD-ROM もしくは USB 接続のフラッシュメモリデータスティックをご持参下さい (MO, FD, ZIP では受付できませんので, ご注意ください).
必ず, バックアップデータをお持ち下さい.
- ・文字化けをふせぐため, OS に標準インストールされているフォントをご使用下さい.
- ・動画を使用される場合はご自身の PC をお持込下さい (データをご持参された場合, 確実に作動する保障はありません). 音声の使用はできません.
- ・お預かりしたデータは研究会終了後, 事務局が責任を持って消去致します.

2) PC 持込の方へ

- ・Windows, Macintosh のどちらでも受付可能です. PC 本体に出力用の D-sub 15pin ミニ端子がついている事を確認してください. 変換コネクタを必要とする場合は必ずご持参下さい. また, 電源アダプターも必ずお持ち下さい. 音声の使用はできません.

3. 発表論文提出について

- ・発表論文 (掲載用論文) は「腎と透析」(東京医学社) の投稿規定に即して作成し, 後日, 印刷した原稿とともに CD-R または USB 電子媒体を日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会事務局宛て郵送にてご提出ください.
- ・掲載漏れなど防ぐために, 研究会当日ならびに事務局以外 (東京医学社) では一切受付できませんので, ご了承ください.
- ・提出期限は研究会開催年の 4 月末日といたします.
- ・研究会開催後に事務局より再度発表者様に上記内容「発表論文提出について」をメールにて案内致しますので, ご確認ください.
- ・4 月末日までに提出がない発表者様に対しては事務局より確認のメールを送信致します. ただし, 確認のみの案内であり, 提出期限の延長などは一切認められません.
- ・郵送物 (原稿と CD-R または USB 電子媒体) に不足がある場合はメールにて連絡致します. 再提出なければ受理できませんので, ご了承ください.
- ・受理いたしました掲載用論文は発表者様へメール通知を行った後, 事務局より東京医学社へお渡しし, 校正などの取扱いについての責任を譲渡致します.

■情報交換会 (参加費 1,000 円)

3 月 10 日 (土) 18:00 より, 霞ヶ関ビル 35F 東海大学校友会館にて会員情報交換会を開催致します. どうぞご参加下さい.

なお, 情報交換会参加申し込みは研究会参加受付隣 (ニッショーホール 1F) にて行います.

役員一覧

名誉会長

斎藤 明（湘南東部総合病院）

会長

水口 潤（川島病院）

（以下 アイウエオ順）

顧問

秋澤 忠男（東京腎疾患研究・情報センター）

秋葉 隆（東京女子医科大学）

酒井 清孝（早稲田大学）

佐中 孜（江戸川病院）

鈴木 正司（信楽園病院）

内藤 秀宗（内藤医学研究所）

世話人

川西 秀樹（土谷総合病院）

竹澤 真吾（九州保健福祉大学）

武本 佳昭（大阪市立大学）

友 雅司（大分大学）

政金 生人（矢吹病院）

山下 明泰（法政大学）

監事

衣笠 えり子（昭和大学横浜市北部病院）

峰島 三千男（東京女子医科大学）

事務局

〒 770-8548 徳島県徳島市北佐古 1 番町 1-39

社会医療法人 川島会 川島病院

TEL : 088-631-1755 FAX : 050-3730-3065

URL : <http://www.hpm-net.jp> Email : information@hpm-net.jp

プログラム

第1日目 3月10日(土)

12:00~12:10	開会の辞
12:10~12:50	基礎
12:50~13:30	溶質除去
13:30~14:10	膜の性能評価 I
14:10~14:50	膜の性能評価 II
14:50~15:00	休憩
15:00~17:40	シンポジウム
18:00~	情報交換会

12:00 ~ 12:10 開会の辞

会長：水口 潤（川島病院）

12:10 ~ 12:50 基礎

座長：川西 秀樹（土谷総合病院）

大澤 貞利（釧路泌尿器科クリニック）

O-01. HPM 有効利用の可能性

医療法人 刀水会 齋藤記念クリニック¹⁾

齋藤記念病院²⁾

第2齋藤記念クリニック³⁾

○平野 和生¹⁾ 身吉 由衣¹⁾ 宮沢 高幸¹⁾ 小島 彩子³⁾ 早川 純²⁾ 朝来野 美紗²⁾ 中村 開²⁾
角山 邦子¹⁾ 今吉 鈴子²⁾ 岩本 祐介²⁾ 矢崎 恒忠²⁾ 齋藤 卓²⁾ 齋藤 敦¹⁾

O-02. 限外濾過実験によるアルブミンを固定した透析膜の非対称性の評価法

法政大学大学院 理工学研究科 応用化学専攻

○掛江 俊輝 山下 明泰

O-03. ミニモジュールを用いたポリメチルメタクリレート膜とポリスルホン膜の溶質タンパク除去特性の比較

東レ・メディカル株式会社 透析事業本部¹⁾

東レ株式会社 先端材料研究所²⁾

○鳥居 裕一¹⁾ 山田 智子¹⁾ 須賀田 徹¹⁾ 藤枝 洋暁²⁾ 上野 良之²⁾ 押原 渉¹⁾

O-04. 旭ビタブレン VPS-VA の性能及び血液適合性に関する *in vitro* 評価

旭化成メディカル MT 株式会社 血液浄化技術開発部¹⁾

旭化成メディカル株式会社 医療技術・材料研究所²⁾

旭化成メディカル株式会社 製品戦略第一部³⁾

○堀 亮子¹⁾ 小野 陽子¹⁾ 末光 淳輔¹⁾ 鎌田 絹江²⁾ 高辻 諒²⁾ 井上 覚²⁾ 畑中 美博²⁾
小泉 智徳²⁾ 齋田 裕子³⁾ 是本 昌英³⁾

12:50 ~ 13:30 溶質除去

座長：下門 清志（しもかどクリニック）

富沢 成美（日機装株式会社）

O-05. FIX-210 S eco における低分子量蛋白の最大溶質除去性能と各種動態への影響

医療法人一陽会 横川クリニック¹⁾

医療法人一陽会 原田病院 看護部²⁾

医療法人一陽会 原田病院 血液浄化部³⁾

医療法人一陽会 横川クリニック 医局⁴⁾

○木村 優之¹⁾ 龍野 浩典¹⁾ 木谷 博之¹⁾ 昌木 秀介¹⁾ 福馬 美保¹⁾ 錦郡 司¹⁾ 新田 千恵美²⁾
本丸 忠生³⁾ 加藤 曜子⁴⁾ 山下 和臣⁴⁾

O-06. GDF-21M の性能評価～後希釈法での濾過量変化に対する溶質除去性能～

医療法人一陽会 一陽会クリニック 血液浄化部¹⁾

医療法人一陽会 一陽会クリニック 看護部²⁾

医療法人一陽会 一陽会クリニック 医局³⁾

医療法人一陽会 原田病院 血液浄化部⁴⁾

医療法人一陽会 横川クリニック 血液浄化部⁵⁾

○中村 健一¹⁾ 中段 沙緒里¹⁾ 谷 雅和¹⁾ 田島 淳平⁴⁾ 田中 秀人⁴⁾ 小野 亮一¹⁾ 山形 智子²⁾
山本 美由紀²⁾ 昌木 秀介⁵⁾ 森田 直美¹⁾ 福田 剛三¹⁾ 手島 和子²⁾ 本丸 忠生⁴⁾ 丹治 知恵³⁾
碓井 公治³⁾

O-07. 後希釈オンライン (O) HDF + I-HDF の溶質除去効果

社会医療法人財団 石心会 さいわい鹿島田クリニック 透析技術課¹⁾

社会医療法人財団 石心会 川崎クリニック 透析技術課²⁾

○齋藤 千尋¹⁾ 伊澤 潤¹⁾ 森尾 仁貴¹⁾ 武田 勝¹⁾ 玉木 遼²⁾ 鶴澤 一行²⁾ 木暮 照子¹⁾
若狭 幹雄²⁾ 朝倉 裕士¹⁾ 宍戸 寛治²⁾

O-08. ABH-22PA による後希釈 On-line HDF 施行時の透析条件が除去性能に与える影響の検討

社会医療法人 川島会 脇町川島クリニック¹⁾

社会医療法人 川島会 川島透析クリニック²⁾

社会医療法人 川島会 川島病院³⁾

○藤原 健司¹⁾ 道脇 宏行²⁾ 田尾 知浩²⁾ 深田 義夫¹⁾ 水口 潤³⁾

13:30 ~ 14:10 膜の性能評価 I

座長：峰島 三千男（東京女子医科大学）

道脇 宏行（川島病院）

O-09. ヘモダイアフィルタ ABH-P と ABH-PA の相違点

釧路泌尿器科クリニック

○大澤 貞利 山本 英博 齊藤 辰巳 伊藤 正峰 佐野 洋 久島 貞一

O-10. 旭化成メディカル社製ヘモダイアフィルタ ABH-22PA の性能評価

あかね会 大町土谷クリニック 透析室¹⁾

あかね会 大町土谷クリニック 内科²⁾

あかね会 土谷総合病院³⁾

○山岡 真治¹⁾ 内田 賢太¹⁾ 末広 啓太¹⁾ 宗美 淳志¹⁾ 奥垣内 彰¹⁾ 真野 純¹⁾ 河角 俊和¹⁾

大瀬 千絵¹⁾ 熊谷 純子²⁾ 高橋 直子²⁾ 土谷 晋一郎³⁾

O-11. On-line HDF によるヘモダイアフィルタ ABH-PA の性能評価

医療法人 康仁会 西の京病院 診療支援部 臨床工学科¹⁾

医療法人 康仁会 西の京病院 透析センター²⁾

○野口 幸¹⁾ 山岡 みゆき²⁾ 渡邊 美智子²⁾ 赤澤 愛²⁾ 吉岡 伸夫²⁾ 高比 康臣²⁾

O-12. ヘモダイアフィルタ ABH22PA の性能評価

(医) さとに田園クリニック 臨床工学科¹⁾

同 内科²⁾

同 泌尿器科³⁾

○久本 康太朗¹⁾ 長岡 高広¹⁾ 宮田 俊哉¹⁾ 中村 慎也¹⁾ 南條 友典¹⁾ 西谷 美香¹⁾ 山本 真理絵²⁾

藤川 康典²⁾ 大島 領³⁾ 太田 匡彦³⁾

14:10 ~ 14:50 膜の性能評価Ⅱ

座長：武本 佳昭 (大阪市立大学)

村上 淳 (東京女子医科大学)

O-13. ダイアライザー NV-21X と FA-210F の臨床性能評価

社会医療法人 母恋 日鋼記念病院 臨床工学室¹⁾

社会医療法人 母恋 東室蘭サテライトクリニック²⁾

○植村 進¹⁾ 庄司 笑香¹⁾ 毛笠 貴隆¹⁾ 湊 千笑¹⁾ 高田 譲二²⁾

O-14. 新型ダイアライザ FA-210Deco の性能評価

特定医療法人あかね会 中島土谷クリニック¹⁾

土谷総合病院²⁾

○服部 裕太¹⁾ 川西 秀樹²⁾ 長岡 剛史¹⁾ 高 義尚¹⁾ 谷川 智彦¹⁾ 森石 みさき¹⁾ 土谷 晋一郎²⁾

O-15. 機能分類 2-b 型ダイアライザ FA-210Deco と FIX-210Seco の比較

特定医療法人 あかね会 中島土谷クリニック¹⁾

特定医療法人 あかね会 土谷総合病院²⁾

○高 義尚¹⁾ 川西 秀樹²⁾ 平 ひとみ¹⁾ 谷川 智彦¹⁾ 森石 みさき¹⁾ 土谷 晋一郎²⁾

O-16. ファインネフロン FA-Feco に変更前後の後追い症例調査報告

医療法人 川崎病院 人工透析室¹⁾

特定医療法人 五仁会 住吉川病院 内科²⁾

○玉置 尚康¹⁾ 粕本 博臣¹⁾ 辻尾 成人¹⁾ 金光 秀史¹⁾ 西田 賀計¹⁾ 織田 善子¹⁾ 亀井 裕知¹⁾
宮地 智弘¹⁾ 安井 智彦¹⁾ 下村 幸平¹⁾ 平野 奈穂子¹⁾ 山本 泰嵩¹⁾ 中村 明日美¹⁾ 成山 真一²⁾

14:50 ~ 15:00 休憩

15:00 ~ 17:40 シンポジウム 「私の考える HPM」

司会：友 雅司（大分大学）

山下 明泰（法政大学）

S-01. 尿酸の kinetic modeling による細胞外液量と細胞内液量の算出

大幸医工学研究所¹⁾

藤田保健衛生大学²⁾

横浜南クリニック³⁾

名古屋市工業研究所⁴⁾

○新里 高弘¹⁾ 中井 滋²⁾ 柴田 和彦³⁾ 青木 猛⁴⁾

S-02. インフラマソームを介した非感染性炎症の新しい概念

岩手県立中央病院 腎臓・リウマチ科

○吉川 和寛 矢坂 健 伊藤 貞利 諸岡 瑞穂 小山 純司 後藤 泰二郎 中屋 来哉 三森 明夫
相馬 淳

S-03. 血液浄化器の問題点と改善

医療法人 偕行会 名港共立クリニック

○田岡 正宏

S-04. 透析患者の患者背景の多様化を見据えたハイパフォーマンスメンブレン

東京女子医科大学 血液浄化療法科

○花房 規男

S-05. 長期間使用可能な人工膜という側面から

北里大学 医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻

○小久保 謙一

S-06. 臨床研究の方向性

大阪市立大学 泌尿器科

○長沼 俊秀 武本 佳昭

S-07. これからの透析を支える HPM を思考する

埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科、血液浄化センター

○小川 智也

S-08. 現在および未来に求められる HPM の方向性とは

山形大学医学部腎泌尿器外科学講座¹⁾

清永会矢吹病院 臨床工学部²⁾

清永会矢吹病院 健康栄養科³⁾

清永会本町矢吹クリニック 内科⁴⁾

○西田 隼人¹⁾ 五十嵐 洋行²⁾ 江刺 志穂²⁾ 中畠 美佳³⁾ 政金 生人⁴⁾ 土谷 順彦¹⁾

18:00 ~ 情報交換会

プログラム

第2日目 3月11日(日)

9:20~10:00	臨床-I
10:00~10:50	膜の性能評価Ⅲ
10:50~11:20	前回優秀演題
11:20~12:00	臨床-II
12:00~13:00	昼食
13:00~13:15	総会
13:15~13:45	臨床研究法解説
13:45~14:35	臨床-Ⅲ
14:35~14:45	閉会の辞

9:20 ~ 10:00 臨床—I

座長：政金 生人（矢吹病院）

井戸田 直和（法政大学）

O-17. 低リン患者に対する透析条件の設定

医療法人援腎会 すずきクリニック 臨床工学部¹⁾

医療法人援腎会 すずきクリニック 泌尿器科²⁾

○人見 友啓¹⁾ 鈴木 翔太¹⁾ 澤本 奈々重¹⁾ 鈴木 一裕²⁾

O-18. 各種透析液別による、大量置換液が電解質変動に与える影響

社会医療法人川島会 川島病院 臨床工学部¹⁾

同 腎臓内科（透析・腎移植）²⁾

○田中 悠作¹⁾ 鎌田 優¹⁾ 岡田 大佑¹⁾ 竹内 教貴¹⁾ 森 浩章¹⁾ 廣瀬 大輔¹⁾ 道脇 宏行¹⁾

田尾 知浩¹⁾ 長瀬 教夫²⁾ 岡田 一義²⁾ 水口 潤²⁾

O-19. On-line HDF が電解質に与える影響

（医）さとに田園クリニック 臨床工学科¹⁾

同 内科²⁾

同 泌尿器科³⁾

○南條 友典¹⁾ 長岡 高広¹⁾ 宮田 俊哉¹⁾ 中村 慎也¹⁾ 西谷 美香¹⁾ 久本 康太郎¹⁾ 山本 真理絵²⁾

藤川 康典²⁾ 大畠 領³⁾ 太田 匡彦³⁾

O-20. 無酢酸クエン酸含有透析剤による前希釈オンラインHDF治療前後での電解質濃度の検討

医療法人社団城南会 西條クリニック鷹番

○朝日 大樹 中島 成仁 土屋 光清 下地 博 西條 公勝 西條 元彦

10:00 ~ 10:50 膜の性能評価Ⅲ

座長：亀井 大悟（東京女子医科大学）

工藤 俊洋（フレゼニウスメディカルケアジャパン株式会社）

O-21. FA-Feco と PES-SG α eco の臨床評価

釧路泌尿器科クリニック

○大澤 貞利 山本 英博 斉藤 辰巳 伊藤 正峰 佐野 洋 久島 貞一

O-22. ニプロ社製 ATA 膜 FA-210Feco の性能評価

JA 長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 診療協力部 臨床工学科¹⁾
JA 長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 腎臓内科²⁾
○増村 貴義¹⁾ 中澤 直人¹⁾ 田中 光¹⁾ 関原 宏幸¹⁾ 長澤 正樹²⁾ 穴山 万理子²⁾ 中村 裕紀²⁾
牧野 靖²⁾ 田村 克彦²⁾

O-23. アルブミン漏出を抑えたヘモダイアフィルターの性能評価

おおの駅前透析クリニック 臨床工学室¹⁾
おおの駅前透析クリニック 内科²⁾
さがみ循環器クリニック 臨床工学室³⁾
さがみ循環器クリニック 内科⁴⁾
○幸松 直樹^{1,3)} 石井 文雄^{1,3)} 乙津 文夫^{1,3)} 林 亜弥³⁾ 清宮 良太³⁾ 大熊 美智代³⁾ 林 秀人³⁾
吉田 煦^{2,4)} 中嶋 真一^{2,4)} 浅井 友基^{2,4)} 本橋 佐知子⁴⁾

O-24. FA-210Feco と FB-210U β eco の溶質除去特性の比較

高知高須病院 臨床工学部 泌尿器科
○保木 宏文 大田 和道 仙頭 正人 濱田 あすか 小川 晋平

O-25. IIa 型 ATA 膜 FA210Feco の溶質除去性能の臨床評価

国保小見川総合病院 臨床工学科¹⁾
国保小見川総合病院 内科²⁾
国保小見川総合病院 外科³⁾
○飯塚 智也¹⁾ 堀 和芳¹⁾ 亀ヶ森 杏菜¹⁾ 木戸岡 智志¹⁾ 齋藤 友佑¹⁾ 塩田 賢司¹⁾ 井上 雅裕²⁾
寺本 修³⁾

10:50 ~ 11:20 前回優秀演題

座長：水口 潤（川島病院）

O-26. オンライン HDF における希釈法別にみた生体適合性の評価

(社医) 川島会 川島病院 臨床工学部¹⁾
土田透析アクセスクリニック²⁾
(社医) 川島会 川島病院 腎臓科³⁾
○道脇 宏行¹⁾ 田尾 知浩¹⁾ 土田 健司²⁾ 水口 潤³⁾ 川島 周³⁾

O-27. 透析濾過実験による非対称膜の支持層の構造の評価法

法政大学大学院 理工学研究科 応用化学専攻
○小野 恭尚 掛江 俊輝 山下 明泰

11:20 ~ 12:00 臨床一Ⅱ

座長：衣笠 えり子（昭和大学横浜市北部病院）
是本 昌英（旭化成メディカル株式会社）

O-28. S型ダイアライザの栄養状態に関する研究

医療法人社団 三思会 東邦病院 臨床工学科¹⁾
医療法人社団 三思会 東邦病院 腎臓透析センター²⁾
○坂田 賢一¹⁾ 松本 理恵¹⁾ 松村 昌樹¹⁾ 吉田 弘明²⁾ 小林 さつき²⁾ 松本 孝之²⁾ 坂本 龍彦²⁾
植木 嘉衛²⁾

O-29. NV膜使用による糖尿病性腎症透析患者の動脈硬化に対する臨床2年間評価

特定医療法人財団 松圓会 東葛クリニック病院¹⁾
同 腎臓内科²⁾
同 外科³⁾
○久保 満¹⁾ 稲田 陽司¹⁾ 中澤 了一²⁾ 東 伸宣³⁾

O-30. 東レ社製ヘモダイアフィルター NVF-21Mの臨床評価

玄々堂君津病院 臨床工学科¹⁾
玄々堂君津病院 外科²⁾
○小原 明士¹⁾ 桐谷 早苗¹⁾ 山口 曜¹⁾ 三浦 英貴¹⁾ 川上 崇史¹⁾ 斉藤 晃¹⁾ 刈込 秀樹¹⁾
三浦 國男¹⁾ 大崎 慎一²⁾ 池田 重雄²⁾

O-31. PMMA製ダイアライザーによる免疫応答性の検討

大分大学医学部¹⁾
顕腎会 大分内科腎クリニック²⁾
誠医会 松山医院大分腎臓内科³⁾
恵愛会大分中村病院⁴⁾
光心会諏訪の杜病院⁵⁾
○友 雅司¹⁾ 松山 家久²⁾ 松山 誠²⁾ 石田 楓²⁾ 福田 桂子²⁾ 松山 和弘³⁾ 益守 直子³⁾
宮崎 秀男⁴⁾ 武居 光雄⁵⁾ 岡本 威志⁵⁾

12:00 ~ 13:00 昼食

13:00 ~ 13:15 総会

13:15 ~ 13:45 臨床研究法解説

富田 靖則（株式会社総合医科学研究所 医薬臨床研究支援事業部）

座長：鈴木 一裕（援腎会鈴木クリニック）
須賀田 徹（東レ・メディカル株式会社）

O-32. FIX を使用した大量補液 Pre on line HDF の透析低血圧に対する有効性について

- (医) 光寿会 光寿会春日井病院¹⁾
(医) 光寿会 光寿会リハビリテーション病院²⁾
(医) 光寿会 多和田医院³⁾
○前田 純¹⁾ 山内 英里¹⁾ 岩瀬 太一¹⁾ 加藤 清也¹⁾ 柴田 昌典²⁾ 多和田 壽枝³⁾

O-33. 透析治療におけるアミノ酸喪失の考察

- (医) 藍蒼会 しもかどクリニック¹⁾
(医) しもかど腎透析クリニック²⁾
○下門 清志¹⁾ 山本 裕実¹⁾ 小汀 祐子¹⁾ 森本 光士郎¹⁾ 河野 真紀²⁾

O-34. ヘモダイアフィルターにおける偽漏血の原因

- (医) 財団明理会 新松戸中央総合病院 臨床工学科¹⁾
(医) 財団明理会 新松戸中央総合病院 腎臓内科²⁾
○鈴木 有紀子¹⁾ 梶 磨依子¹⁾ 田村 浩之¹⁾ 山崎 朋寛¹⁾ 橋本 健斗¹⁾ 長崎 剛久¹⁾ 本咲 蓮¹⁾
村崎 しおり¹⁾ 小國 佑一¹⁾ 花栗 和成¹⁾ 松本 祐太郎¹⁾ 池田 光希¹⁾ 佐藤 英一²⁾ 天羽 繭子²⁾
野村 まゆみ²⁾ 松村 大輔²⁾ 魯 紅梅²⁾ 小野 貴央²⁾ 出川 まなか²⁾ 中村 司²⁾

O-35. 全身掻痒感を伴う低蛋白血症の患者に対し Pre on-lineHDF を施行した症例

- 特定医療法人あかね会 中島土谷クリニック¹⁾
特定医療法人あかね会 土谷総合病院²⁾
○下方 実樹¹⁾ 森石 みさき¹⁾ 西田 英樹¹⁾ 高 義尚¹⁾ 谷川 智彦¹⁾ 川西 秀樹²⁾ 土谷 晋一郎²⁾

O-36. EHOPED 研究最終報告

- EHOPED 研究グループ³⁾
○政金 生人^{1,3)} 水口 潤^{2,3)} 伊丹 儀友³⁾
春日 弘毅³⁾ 鎌田 貢壽³⁾ 川西 秀樹³⁾
鈴木 洋通³⁾ 武本 佳昭³⁾ 土田 健司³⁾
友 雅司³⁾ 中井 滋³⁾ 新田 孝作³⁾ 前波 輝彦³⁾
山下 明泰³⁾
○政金 生人

世話人：川西 秀樹